

平成25年度

公益財団法人市川市花と緑のまちづくり財団事業報告

事業活動概要

財団法人市川市緑の基金は創立以来26年にわたり緑の保全と緑化の推進に努め、みどりのまちづくりに役割を果たしてきた。平成25年度からは近年盛んになってきた花の推進を加え、公益財団法人市川市花と緑のまちづくり財団として生まれ変わった。

新しい財団として1年目の平成25年度は、公益財団法人としての使命を意識しながら、花と緑のまちづくりに寄与するための事業の実施に努めた。また、緑の保全をはじめ、公共施設への花の普及、市民の花バラの普及促進などの事業に当たっては、ボランティア団体等との協働によって推進することができた。

市川市から公園及び緑地の管理を受託することについては、市と協議を進め、計画的に受託事業を拡大していく方向を確認した。

なお、公益目的事業の安定的かつ計画的な推進のため、収益事業の確保・拡大をはじめ、基本財産の適正かつ効率的な運用、受託事業の拡大に努めた。

第1 公益目的事業

1. 花と緑に関する講座の開催

花と緑の普及啓発を図るため、各種講座を開催する。特に緑地保全の講座を拡大するとともに、公益財団法人への移行記念として各種講座を充実拡大して開催した。

① 緑を守るボランティア養成講座

森林の生態、保全方法、管理技術等を学ぶ講座

里見公園及び市内緑地の現場で6月～12月まで全8回。参加人員は13名。

② 市川の緑地を知る講座

緑地保全の意義と課題を学びながら市川の緑地の現状と保全を考える講座

市民会館にて、4月～9月まで全5回。参加人員は14名。

③ 素敵なガーデニング講座

家庭の庭から、ベランダ、テラスなど、それぞれのシーンにあった素敵な演出方法をはじめ、本格的なガーデニングを始めたい方のための聴講式講座

コルトンホールにおいて多彩な講師により、5月から翌年1月まで全8回、参加人員は114名。

④ バラ年間育成講座

市民の花バラを美しく咲かせるための年間育成講座。バラ園見学を含む。

里見公園及び南行徳公園にて、5月～翌年2月まで全9回。参加人数は里見会場32名、南行徳会場14名。

⑤ ナチュラルガーデナー養成講座

イングリッシュガーデンを作り、適切に管理するための技術を実践的に学ぶ講座

東山魁夷記念館駐車場のリンデンバウムガルテンにおいて、4月～翌年3月まで毎月2回。

参加人数21名

⑥ やさしい園芸基礎講座

家庭園芸の技術を楽しく、実践的に基礎から学ぶ講座。

市民会館にて、5月～10月まで全6回。参加人数は39名。

⑦ 自分でできる庭木の手入れ講座

家庭の緑化を推進するための庭木の手入れと生垣制作の技術を現場の職人から学ぶ講座。

里見公園にて5月～11月に全6回。参加人数は20名。

⑧ ハンギングバスケットづくり講座～我が家を飾る・まちを飾る～

壁や門扉を利用して花や緑を楽しむハンギングバスケットづくりを学ぶ講座。公益財団法人市川市花と緑のまちづくり財団移行記念講座。

里見公園にて、4月～11月まで全3回。参加人数は29名。

⑨ 寄せ植えづくり講座～歴史を彩った花々～

歴史上のエピソードを交え、季節の鉢植えを学ぶ講座。公益財団法人市川市花と緑のまちづくり財団移行記念講座。

南行徳市民センター会場において、9月～11月まで全3回。参加人数は23名。

⑩ 親子で木工工作講座

親子で自然の素材を使った木工工作を体験し、自然に親しむ講座

8月竹細工、11月クリスマスリース・クリスマスツリー、12月門松づくり

里見公園で参加人員は8月10組、11月10組、12月12組。

⑪ その他単発講習会

夏休み親子講座には参加人数24組、ハンギングバスケット講座には参加人数30名、寄せ植えづくり講座には参加人数32名

2. 園芸相談

市民から来訪、電話、葉書き等で寄せられる園芸に関する相談に対し、随時対応した。

3. 催し物等の開催

① ローズいちかわフェアの開催

市民の花バラの展示及び普及促進、並びに花と緑のまちづくりの啓発を図るため、平成25年5月25日、里見公園バラ園を中心にして、第1回ローズいちかわフェアを開催した。

特に、公益財団法人市川市花と緑のまちづくり財団への移行記念として盛大に開催した。

参加者約3,000名

② スズムシの配布

市民の昆虫スズムシを7月25日に市民の方を対象として里見公園にて無料配布を行った。今回は特に市民から提供していただいたスズムシを配布した。また、自然ふ化させた子どもを「スズムシ博士」として表彰した。

③ 各種イベントに参加

市民まつりをはじめ、サンフェスタ、環境フェアに参加し、花と緑のまちづくりについて啓発を図った。

4. 市民活動の支援

花と緑のまちづくりに貢献する市民活動を支援する。

① 緑のボランティア活動支援

緑地の自然調査、適正な管理作業などのボランティア活動を行っている登録市民団体等に対し支援を行うとともに、人材の育成を図った。1 団体あたり 5 万円を限度として 8 団体に対して 400,000 円を助成した。

団体名	助成金額
いちかわ里山倶楽部	50,000
国府台里山倶楽部	50,000
市川山季の会	50,000
市川四季の会	50,000
いちかわ里山整備隊	50,000
塩浜草刈タイ	50,000
わんぱくの森の会	50,000
大町教育の森の会	50,000
8団体 合計	400,000

② 花壇管理(市川ガーデニングクラブ)支援

市民等で組織する市川ガーデニングクラブ(59団体、約566名)あるいは自治会等が都市公園等59か所で行う花壇管理に関するボランティア活動に対して、年に2~3回、花苗26,679株などの支援を行った。

平成25年度 IGC 花苗支援数集計

		公園・花壇名	花壇面積(m ²)	予定配布数 (1回あたり)	配布実数 年間合計
造園組合	1	西の下公園(宮久保婦人会)	33	60	120
	2	塚の上公園	1	150	300
	3	子の神中央公園	12	40	80
	4	宮久保公園	1	15	30
	5	百合台公園	18	310	620
	6	山王公園B	4	200	400
	7	堀之内公園	11	140	280
	8	権現原公園		10	20
	9	大野みどり公園	9	130	260
	10	もときたかた公園	14	250	500
	11	北方児童公園	7	100	200

12	平田公園	11	260	520	
13	あざみ公園	1	20	40	
14	田尻第1公園	1	25	50	
15	行徳3丁目八幡宮児童遊園地	16	75	150	
16	塩焼中央公園	2	200	400	
17	モッコク公園	3	80	160	
18	塩の花公園		120	240	
19	新場山公園		60	120	
20	白妙公園	17	1,000	2,000	
21	押切公園	21	190	380	
22	神輿公園	10	100	200	
23	広尾公園	16	280	560	
24	八幡神社児童遊園地	10	150	300	
25	宮久保台広場	12	140	280	
26	胡録公園	8	180	360	
27	新田公園	1	190	380	
28	すいせん公園	4	60	120	
小計			4,535	9,070	
ユニティ(菅野店)	29	北方第2公園A	1	90	180
	30	北方第2公園B		90	180
	31	須和田公園	8	534	1,350
	32	大芝原公園	2	160	461
	33	東大和田公園	2	160	760
	34	山王公園A	2	200	400
	35	総武台公園	14	100	300
	36	本八幡公園	14	500	790
		広尾防災公園			0
小計			1,834	4,421	
ユニティ(千鳥町店)	37	妙典公園	11	160	510
	38	東場公園	4	130	260
	39	福栄緑道	10	400	1,100
	40	サルビア公園B	1	50	100
	41	御手浜公園	6	190	380
	42	東海面公園	16	790	1,560
	43	弁天公園	18	1,330	3,030
	44	行徳駅前公園	8	110	320
	45	新浜公園	2	15	30

	46	妙典小前妙典花壇(河川敷)	9	300	750
	47	塩浜中央公園	18	390	770
	48	サルビア公園A	2	54	108
	49	南行徳駅前ロータリー	16	220	540
	50	南沖公園	6	200	570
	51	柳形公園	3	90	0
	52	欠真間公園	4	240	480
	小計			4,669	10,508
その他	53	大和田4丁目公園	20	200	600
	54	真間銀座会	74	240	490
	55	妙典公園(桜の木の下花壇)他	11	300	510
	56	高石神公園	6	260	688
	57	中山東公園	4	100	200
	58	若宮いずみ公園	8	60	192
	59	中山3丁目児童遊園地	13	40	0
	小計			1,200	2,680
合計			556	12,238	26,679

また、自治会等、花で満たされた潤いのある街づくり活動をする29団体に対して、12月に葉ボタン3,340株、有機堆肥(40ℓ入り)327袋の配布を行った。

③ 花壇づくり支援

商店会等市民による地域における花壇づくりを支援するため、2年間に限り、必要な資材、花苗等を支援した。

番号	団体名	助成額
1	関ヶ島自治会	90,000円
計	1件	90,000円

5. 市民の花バラの普及促進

市川市は1975年より市民の花をバラと定めているが、当財団は、その普及促進活動を総合的に進めた。

① 普及啓発

財団のホームページにバラ情報を掲載、小冊子「由緒あるバラの街 市川」の発行、「ローズいちかわフェア」の開催などにより、普及啓発を図った。また、市民まつりをはじめ、サンフェスタ、環境フェアに参加し、ローズいちかわの普及啓発に努めた。

② 管理公開

公園内6箇所のバラ園について、ローズオブ市川の協力を得て草刈、薬剤散布、剪定等の管理を適切に行った。また、里見公園、大洲防災公園、行徳駅前公園、広尾防災公園に補植等を行って、市内バラ園のバランスと個性化を図った。さらには、写真付の名札を付けるなどして、親しみやすく観賞しやすい工夫を行い、市民に展示公開した。

③ バラ園をバラ育成体験学習の場、バラボランティア人材育成の場として活用

バラ園の一部について、バラ年間育成講座の体験学習の場として、また、バラボランティアの人材育成の場として活用した。

なお、当法人のバラ年間育成講座を終了し、バラのボランティアに従事する市民について、バラに関する知識、技術を修得したことを認定する制度創設の検討を進めた。

バラ園：里見公園、須和田公園、大洲防災公園、行徳駅前公園、南行徳公園、広尾防災公園

6. 公共施設をはじめ街における花と緑の普及促進

市民生活に密接に係わり、しかも都市景観の形成に効果的な公共施設をはじめ市街地において、積極的に花と緑の普及促進を図る。

① 市役所等公共施設における推進

市役所及び公民館、学校等の公共施設において市民の花バラをはじめ、寄せ植え、ハンギングバスケット、観葉植物等を普及促進した。その他、市川市文化会館、市川市クリーンセンターにローズいちかわを提供した。

② 桜並木整備

河川堤防及び公園等の公共施設に樹木オーナー制度を活用して植栽した桜について、市民等と協働して草刈、薬剤散布、施肥等の管理を行った。

また、随時開花情報等をお知らせし、オーナー間の交流を促進するとともに花見を楽しんでいた。

江戸川堤防市川南地区、江戸川放水路堤防妙典地区、江戸川堤防国府台地区、広尾防災公園に計 170 本

7. 生垣助成

潤いのある緑豊かな環境づくりと地震や火災などの災害に対して強いまちづくりの一環として生垣を推進するため、以下のとおり 8 か所 62.1m の生垣事業に助成した。

番号	地区名	箇所数	施行延長 (m)
1	高石神	1	6.7
2	中国分	1	13.6
3	菅野	1	7.2
4	国分	1	8.7
5	原木	1	6.5
6	須和田	1	6.4

7	中国分	1	4.2
8	須和田	1	8.8
計	8地区	8	62.1

8. 屋上緑化助成

都市の快適環境を創出すると共にヒートアイランド現象の緩和を図る一環として屋上緑化を推進するため、市民および事業所等が屋上緑化を実施する場合に助成するが、25年度は問い合わせはあったものの助成実績はなかった。

9. 花壇助成

市川市が進める花と緑に満たされた魅力あるまちづくりの一環として、高石神地区において1件のプランター（1110）に対し、費用の一部を助成した。

10. 駐車場緑化

緑化推進の一環として、駐車場の緑化を行った2件に対して、費用の一部を助成した。

11. 緑化活動団体等への助成

花と緑のまちづくりを推進するために、普及啓発や推進活動を実施している緑化団体等に対して助成した。

番号	団体名	助成額
1	行徳いきいき花の会	50,000円
計	1件	50,000円

第2 収益事業

1 自動販売機等の経営

里見公園他15公園において、財団が有償で土地を確保し、入札により自動販売機会社6社に対して37台の自動販売機の設置許可をした。財団は自動販売機会社から売り上げの一部を手数料として受け取り、公益目的を達成するために行う財団運営の一助とした。

第3 法人管理

1 基本財産の造成、管理及び運営事業

基本財産の安定化及び財団運営の健全化を図るため市民からの寄付金及び収益事業の繰越金の一部を基本財産に積立した。また、基本財産を安定的かつ効率的に運用して利息収益を確保に努めた。